

東山高×市立尼崎高 エキシビジョンマッチ

高校新3年生 主役を探せ!

今月の「ハイQランド」
祝4連覇・富士通

月刊バレーボール

月刊バレーボール5月号 1947年11月15日第3種郵便物認可 第75巻第5号 2021年4月15日発行(毎月15日発行・発売)

2021
5
MAY

男子
日本代表
メンバー発表

戻ってきた
常勝軍団

14年ぶり
サントリー
Vリーグ制覇



主役候補たちのスパイク技術

廣田あい

ミドルブロッカーっぽさのない
ダイナミックなバックアタック

ミドルブロッカーだが後衛でもプレーし、バックアタックを打つ廣田。バックアタックでは踏み込みのスタンスが広く(写真2)、空中で勢いよくヒジを引くダイナミックなスイング(写真4)が特徴だ。テイクバック時に曲がっている右足(写真4)を前に蹴り出し、勢いよくそろえた下半身(写真5)の反動で、右手を前に持ってきてボールにヒット。しっかり手を振り抜いている(写真9)点も含めて、アウトサイドヒッターのようなバックアタックだ。



深澤めぐみ

上半身のコンパクトな動きと
関節の柔らかさが生んだスパイク

春高で最優秀選手賞を獲得した深澤は、ヒジを90度に曲げたバックスイング(写真2)で、上半身の動きはコンパクト。また、振りあげ、テイクバックはヒジからではなく、手先から引く(写真4)のが特徴で、頭の後ろまで引いた手先を、ヒジを起点に前に飛ばすイメージ(写真6~7)でボールをたくすスイングだ。踏み切り時に骨盤が前傾している(写真3)ことで姿勢が崩れにくく、パワーポジションを保てていたり、踏み込みの左足が右足に対して垂直になる(写真4)ほど骨盤が内旋し、強いブレーキをかけて高く跳ぶなど、関節の柔らかさも特徴の一つだ。



吉武美佳

左手の動きで体を開き、
閉じる勢いで打つ

バックスイングではヒジをしっかり伸ばし(写真2)、テイクバックは斜めに、最短距離でヒジをしっかり引く(写真4~5)。引き上げた左手を折りたたむのではなく、外に逃がすことで胸を開き(写真6)、その左手を追いかけるように胸を閉じて右手をスイング(写真7)。肩の可動域が横に広いため、ボールがズレても対応できる、アウトサイドヒッターらしいスパイクだ。



〜連続写真解説〜

2021年度高校女子バレーを引っ張っていくであろう、3人のエースアタッカーたちの技術を連続写真で解説します

解説(P118~119 スパイク、P121~123 トス)／増村雅尚(崇城大学男子バレーボール部監督) 写真／山田高央

